



JP 取扱説明書 . . . . . 1～6頁  
原文翻訳：本日本語訳は、Schmersal 本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

内容

1 この文書について	
1.1 機能	1
1.2 対象：権限・資格のある人向け	1
1.3 使用記号の説明	1
1.4 安全上のご注意	1
1.5 誤使用に関する警告	1
1.6 免責事項	1
2 製品内容	
2.1 適用機種	2
2.2 特別仕様	2
2.3 目的と用途	2
3 取り付け	
3.1 通常の取り付け方法	2
3.2 寸法	2
3.3 取付寸法	3
3.4 作業手順取付・外側取付	3
3.5 作業手順取付・内側取付	5
4 立上げと保全	
4.1 動作テスト	6
4.2 保全	6

1. この文書について

1.1 機能

この取扱説明書は、製品の取り付け・据付・試運転・安全操作・取り外しに必要な全ての情報を提供します。製品付近に完全かつ読みやすい状態で保管してください。

1.2 対象：権限・資格のある人向け

この取扱説明書に記述された全ての操作は、使用者によって認められた専門技術者が行ってください。

この取扱説明書を熟読し、コンポーネントの据付及び運転の前に、労働安全及び事故予防のための適用可能な全規定についてご確認ください。

組立作業員は、コンポーネントの選定、取り付け、内蔵に対して、他の技術仕様を遵守するのと同じように、慎重に整合規格を選択しなければなりません。

1.3 使用記号の説明



情報、助言、注釈：

この表示は役立つ追加情報を示します。



注意：取り扱いを誤った場合に、故障、機能不良が想定される内容を示しています。

警告：取り扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1.4 安全上のご注意

使用者は、この取扱説明書内の注意書き、各国特有の据付規格、周知の安全法規および事故予防方策を遵守しなければなりません。



更なる技術情報については、Schmersal カタログまたはインターネット ([www.schmersal.net](http://www.schmersal.net)) 上のオンラインカタログをご参照ください。

仕様などの記載内容について予告なく変更することがあります。あらかじめご了承下さい。

残留リスクは、取り付け・据付・操作・保全に関する説明書同様に安全に関する注意の監視時に周知されています。

1.5 誤使用に関する警告



本製品の不十分、不適切な使用および無効化の際は、人への危険、機械、設備への損害を負う可能性があります。EN 1088の関連注意事項もご参照ください。

1.6 免責事項

誤った取り付けやこの取扱説明書を正しく理解していないために起こった損害、故障は、免責事項となります。また、製造者により許可されていない代替・付属品による損害は、製造者の免責事項となります。

独自の修理・改造・変更は、安全上の理由から許可されておらず、その結果生じる損害に対して製造者は免責事項となります。

2. 製品内容

2.1 適用機種

本取扱説明書は以下の型式名を対象としています。

① ②-STS30-③

番号	値	内容
①	AZ AZM ...	セーフティスイッチAZ ... 用 セーフティスイッチAZM ... 用 シリーズの選択
②	01	内側取付、緊急ハンドル付、ドアヒンジ右
	02	内側取付、緊急ハンドル付、ドアヒンジ左
	03	内側取付、緊急ハンドルなし、ドアヒンジ右
	04	内側取付、緊急ハンドルなし、ドアヒンジ左
	05	外側取付、緊急ハンドル付、ドアヒンジ右
	06	外側取付、緊急ハンドル付、ドアヒンジ左
	07	外側取付、緊急ハンドルなし、ドアヒンジ右
	08	外側取付、緊急ハンドルなし、ドアヒンジ左



同じ型式名シリーズの他の製品で提供されている付属部品であっても、改造は許可されておりません。改造された場合、安全機能を保証することが出来ません。機械指令への適合は、引渡し時の状況でのみ有効とされます。

2.2 特別仕様

2.1適用機種で挙げられていない特別仕様は一般仕様準じます。

2.3 目的と用途

セーフティドアハンドルシステム...STS30は、ヒンジ式保護装置に適しています。電磁ロック付セーフティスイッチは、危険領域の内側・外側に取り付けることが出来ます。保護装置はハンドルを回すことにより外部から開閉可能となります。動作ハンドルは、90°毎にラッチされます。セーフティドアハンドルシステム...STS30は、保護装置の開放に関する緊急ハンドル付を装備しています。緊急ハンドルの動作により、保護装置は、危険領域内から開けられます。保護装置を内側から閉じることは出来ません。セーフティドアハンドルシステム...STS30は、ロックアウト・タグにより、保全作業中の保護装置の予期せぬロックを防止することが可能となります。

3. 取り付け

3.1 通常の取り付け方法



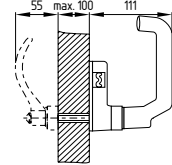
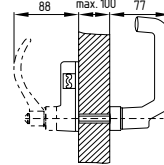
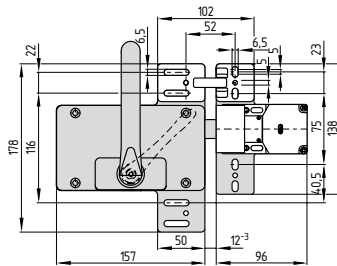
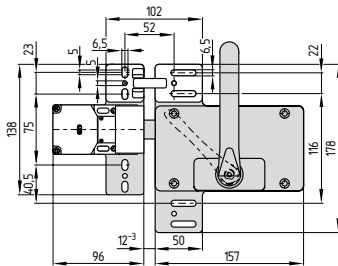
配線は専門技術者が行なってください。

3.2 寸法

全ての寸法単位はmmです。

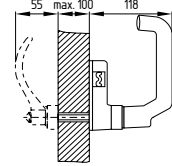
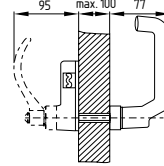
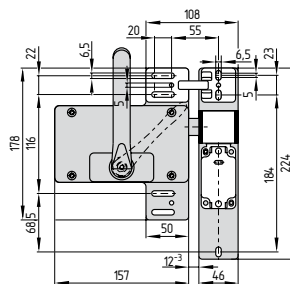
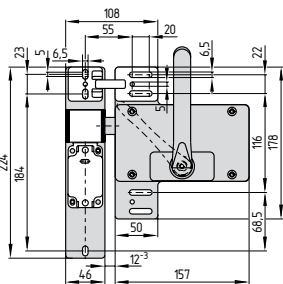
AZ 16-STS30-02/-04/-05/-07

AZ 16-STS30-01/-03/-06/-08



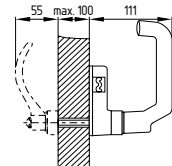
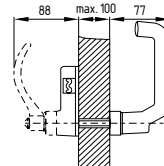
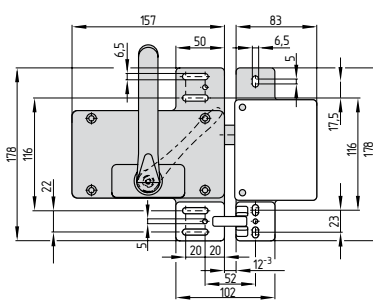
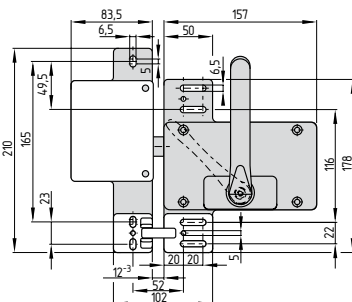
AZ 3350-STS30-02/-04/-05/-07

AZ 3350-STS30-01/-03/-06/-08

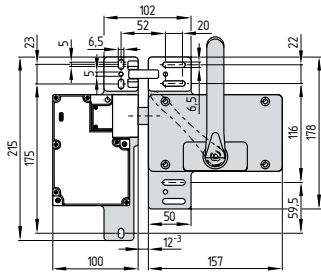


AZ 415-STS30-02/-04/-05/-07

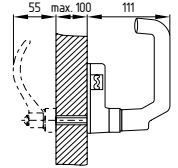
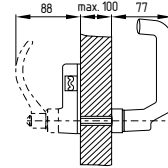
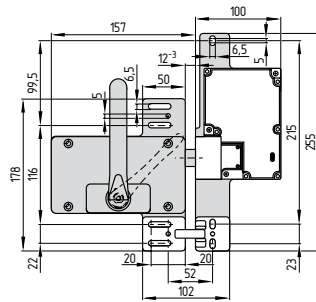
AZ 415-STS30-01/-03/-06/-08



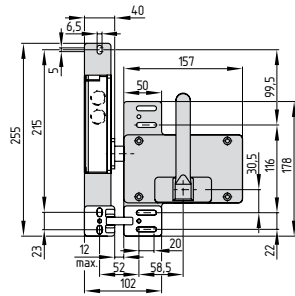
AZM 161-STS30-02/-04/-05/-07



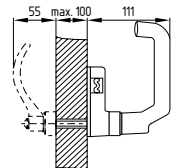
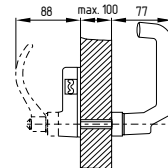
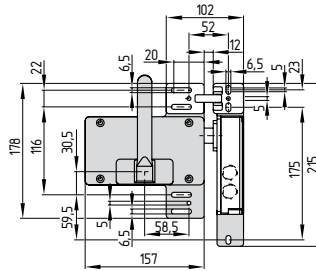
AZM 161-STS30-01/-03/-06/-08



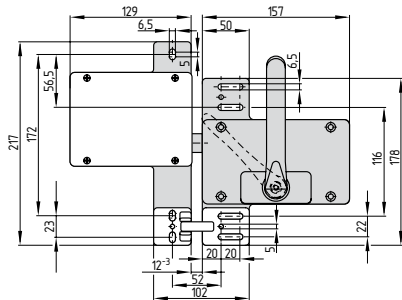
AZM 161-STS30-02/-07-R



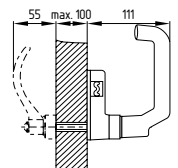
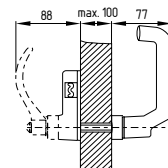
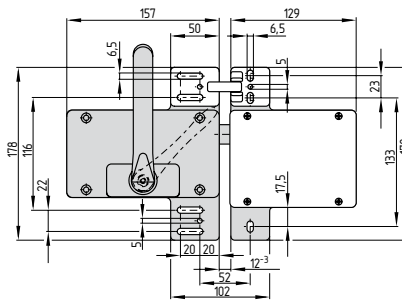
AZM 161-STS30-01/-08-R



AZM 415-STS30-02/-04/-05/-07



AZM 415-STS30-01/-03/-06/-08



3.3 取付寸法

	"a"	"x"	"y"
AZ 16	12 <sup>-3</sup> mm	5 mm	5 mm
AZ 3350	12 <sup>-3</sup> mm	12 mm	5 mm
AZ 415	12 <sup>-3</sup> mm	5 mm	5 mm
AZM 415	12 <sup>-3</sup> mm	5 mm	5 mm
AZM 161	12 <sup>-3</sup> mm	5 mm	5 mm

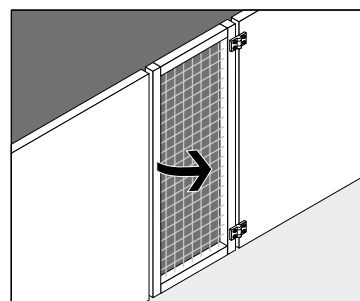
記号説明

a	スイッチとアクチュエータ間の最大距離
X	アクチュエータの取付プレートの厚さ
Y	ドアハンドル・緊急ハンドルの取付プレートの厚さ



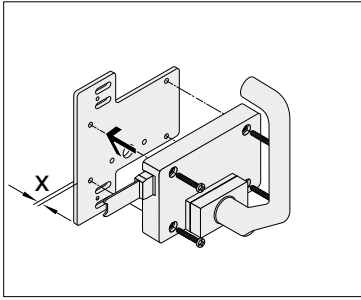
(オプション対応のセンタリングデバイス使用によるなど) アクチュエータがセーフティスイッチに問題なく挿入するように取付時には注意して下さい。隙間寸法" a = 12<sup>-3</sup>"を遵守し、水平方向と垂直方向共に両者間に傾きのある取付は回避して下さい。

3.4 作業手順取付・外側取付



作業手順1

- ・アクチュエータを取付プレートに取り付けて下さい。

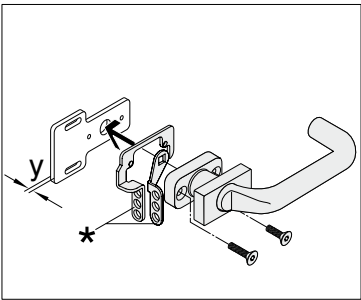


作業手順2

- ・必要な場合は、ロックアウト・タグを事前に取り付け、ドアハンドルを取付プレートMP TG-01上に取り付けて下さい。

注意

ロックアウト・タグの取扱説明書をご参照ください。

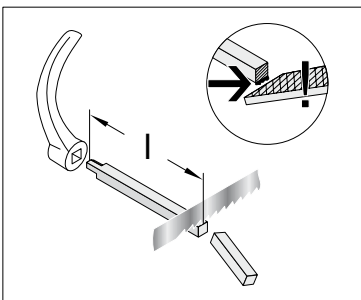


作業手順3

- ・ドアハンドル接続バーを適切な長さに切断して下さい。

注意

- ・全ての寸法単位はmmです。
- ・緊急ハンドル付:  $l = s + x + y + 82 + 4*$
- ・緊急ハンドルなし:  $l = s + x + y + 69 + 4*$
- ・切断された接続バーの面取りをして下さい。



記号説明

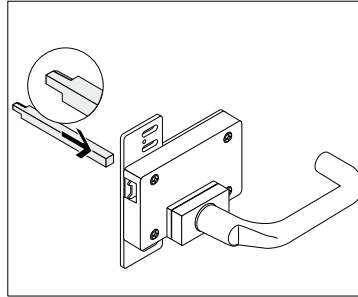
l	接続バーの長さ
s	ドアの厚さ
X	アクチュエータの取付プレートの厚さ
Y	ドアハンドル・緊急ハンドルの取付プレートの厚さ；緊急ハンドルとドアハンドルの取付プレートを使用する場合には、"y"を二度考慮して下さい。
4*	ロックアウト・タグがある場合のみ考慮して下さい。

作業手順4

- ・接続バーをアクチュエータに挿入して下さい。

注意

- ・ドアハンドルを水平にして下さい。
- ・緊急ハンドルがある場合：緊急ハンドルに対する接続バーの方向に注意して下さい。（図参照）

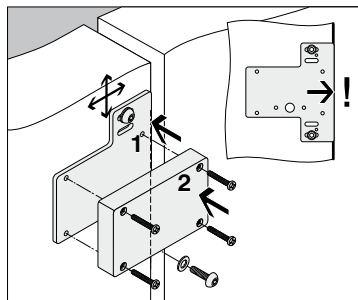


作業手順5

- ・スイッチを取付プレートに取り付けて下さい。
- ・スイッチの取付プレートをケース端がドアポストと同一直線になるように取り付けて下さい。

注意

- ・ネジ：M6
- ・取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。

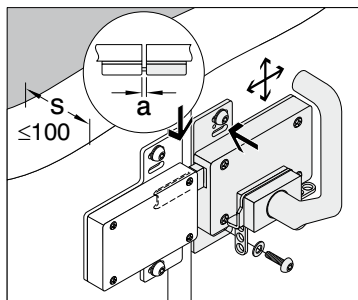


作業手順6

- ・アクチュエータをドアに取り付け、正しい位置合わせをして下さい。

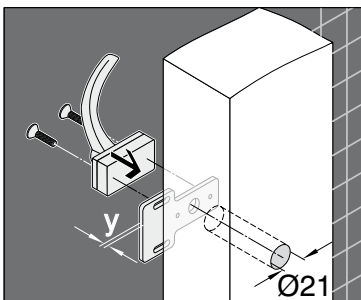
注意

- ・アクチュエータを完全に取り外して下さい。
- ・アクチュエータをスイッチケースに挿入して下さい。
- ・スイッチとアクチュエータ間の最大距離"a"に注意して下さい。（寸法表を参照下さい。）
- ・ネジ：M6
- ・取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。



作業手順7

- ・ 緊急ハンドルがある場合、緊急ハンドルを取付プレート上にネジ留めして下さい。

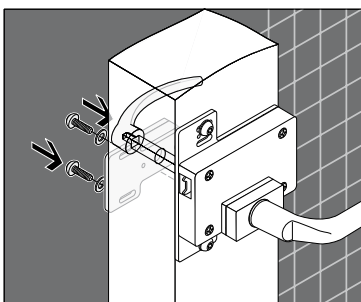


作業手順8

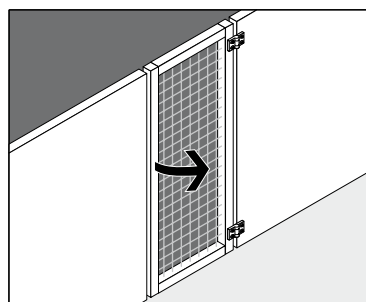
- ・ 緊急ハンドルに接続バーを差し込んで下さい。
- ・ 緊急ハンドル付取付プレートをドアに取り付けて下さい。

注意

- ・ 緊急ハンドルに接続バーを差し込み、ハンドルを水平方向で取り付けて下さい。
- ・ ネジ：M6
- ・ 取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。



3.5 作業手順取付・内側取付

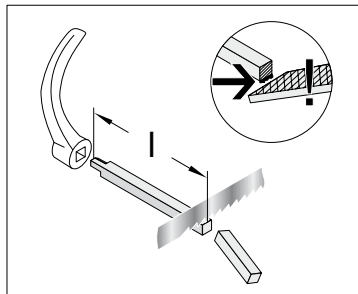


作業手順1

- ・ ドアハンドル接続バーを適切な長さに切断して下さい。

注意

- ・ 全ての寸法単位はmmです。
- ・ 緊急ハンドル付： $l = s + x + y + 82 + 4*$
- ・ 緊急ハンドルなし： $l = s + x + y + 69 + 4*$
- ・ 切断された接続バーの面取りをして下さい。



記号説明

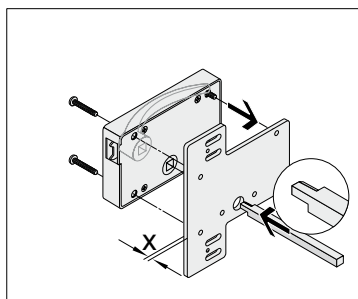
l	接続バーの長さ
s	ドアの厚さ
X	アクチュエータの取付プレートの厚さ
Y	ドアハンドル・緊急ハンドルの取付プレートの厚さ； 緊急ハンドルとドアハンドルの取付プレートを使用する場合には、"y"を二度考慮して下さい。
4*	ロックアウト・タグがある場合のみ考慮して下さい。

作業手順2

- ・ 接続バーをアクチュエータに挿入して下さい。

注意

- ・ 緊急ハンドルがある場合：緊急ハンドルに対する接続バーの方向に注意して下さい。（図参照）

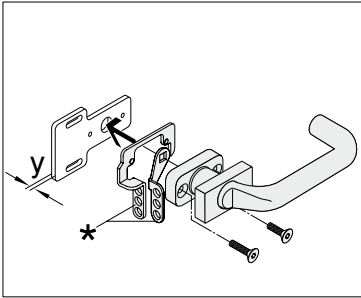


作業手順3

- ・ ロックアウト・タグがある場合のみ取り付けて下さい。

注意

ロックアウト・タグの取扱説明書をご参照ください。

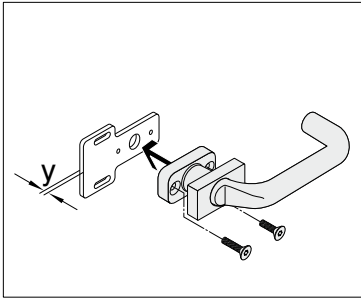


作業手順4

- ・ ドアハンドルを取付プレート上でネジ留めして下さい。

注意

・ ネジを締める時は、カバーを外して下さい。

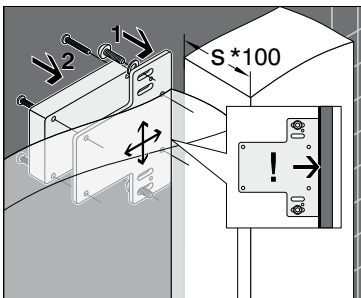


作業手順5

- ・ スイッチの取付プレートをケース端がドアポストと同一直線になるように取り付けて下さい。
- ・ スイッチを取付プレートに取り付けて下さい。

注意

- ・ ネジ：M6
- ・ 取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。



K. A. Schmersal GmbH  
Industrielle Sicherheitssysteme  
Mödinghofe 30, D-42279 Wuppertal  
Postfach 24 02 63, D-42232 Wuppertal

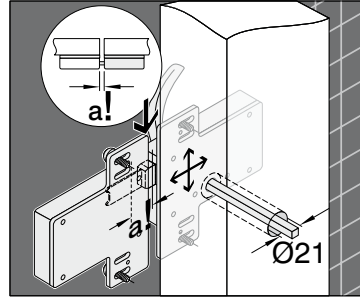
Telefon +49 - (0) 2 02 - 64 74 - 0  
Telefax +49 - (0) 2 02 - 64 74 - 1 00  
E-Mail: info@schmersal.com  
Internet: http://www.schmersal.com

作業手順6

- ・ アクチュエータをドアに取り付け、正しい位置合わせをして下さい。

注意

- ・ アクチュエータを完全に取り外して下さい。
- ・ アクチュエータをスイッチケースに挿入して下さい。
- ・ スイッチとアクチュエータ間の最大距離“a”に注意して下さい。（寸法表を参照下さい。）
- ・ ネジ：M6
- ・ 取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。

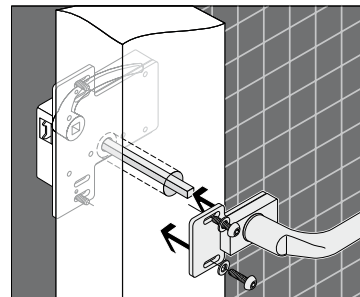


作業手順7

- ・ ドアハンドルに接続バーを差し込んで下さい。
- ・ 取付プレートをドアに取り付けて下さい。

注意

- ・ ドアハンドルに接続バーを差し込み、緊急ハンドル・ドアハンドルを水平方向で取り付けて下さい。
- ・ ネジ：M6
- ・ 取付プレートの長穴の中央でネジ留めして下さい。



4. 立上げと保全

4.1 動作テスト

本製品は、安全機能に関してテストされなければなりません。ここでは、以下を確認して下さい。

1. アクチュエータおよびセーフティスイッチ・電磁ロック付セーフティドアスイッチがしっかり取り付けられているか確認してください。
2. ケーブル配置や接続状態を確認してください。
3. ケースの損傷を確認してください。

4.2 保全

下記の通常保全を推奨します。

1. アクチュエータおよびセーフティスイッチ・電磁ロック付セーフティドアスイッチがしっかり取り付けられているか確認してください。
2. 扉隙間寸法“a”を確認し、場合によっては後調整をして下さい。また、水平方向と垂直方向共に両者間に傾きのある取付状態は回避して下さい。
3. 破片やホコリなどの異物はすべて取り除いてください。
4. ケーブル配置や接続状態を確認してください。

破損、故障した際は交換してください。

